

第 58 回 東京消化器内視鏡看護勉強会レポート

テーマ：「経鼻内視鏡」

開催日：2023 年 11 月 18 日（土）14：00～16：00

会場：五反田文化会館

講師：国際医療福祉大学三田病院 東京消化器内視鏡技師会役員 堀川由佳先生

参加者：21 名（世話人含む）

「経鼻内視鏡前処置方法など取り上げてほしい」というアンケート要望の多くある経鼻内視鏡は、多くの施設で行われています。今回大規模病院からクリニック、検診施設勤務の方まで幅広くご参加いただきました。

講義内容：・鼻および咽喉頭周囲の解剖

- ・経鼻内視鏡の知識
- ・経鼻内視鏡の前処置
- ・鼻出血時の対応
- ・細径スコープの活用

交流タイム・経鼻内視鏡前処置方法

- ・使用薬剤
- ・その他 悩み質問もOK



まず図を用いて解剖の説明があり、次に経鼻内視鏡の知識として経口内視鏡との比較や、経鼻内視鏡選択のメリット・デメリットの説明をしていただきました。「内視鏡の絶対的禁忌はあるが、経鼻内視鏡の禁忌ガイドラインは無い。」という説明にハッとして、（自分は知っているようで知らなかった）と反省しました。続いて写真でスコープの通り道を確認したあと、スティック法での手技ポイントを教えていただきました。「前処置をどこに効かせたら効果的なのか？」という項目では今まで自分が考えていた部分（奥の方）と違う事を知り、大変勉強になりました。

コロナ禍でエアロゾル対策が必要となった際、先生の勤務先で咳嗽を誘発させない工夫として経鼻前処置具の検討をした内容について紹介していただきました。どの程度の噴霧スピードなら霧が細かく、効果的かという実験内容です。使用したルネミッシュ®の、噴霧実験の動画を見せて頂きました。動画でしたので一目瞭然で分かりやすかったです。

鼻出血時の対応については、先生のご施設では「検査後の出血事例はほぼ無い。」との事でした。効果的な前処置の工夫と努力の結果なのではないかと考えました。

細径スコープの活用として PEG、咽頭腫瘍、異物除去、スクリーニングで使用されている事を説明していただきました。特に PEG で使用する際は仰臥位で施行でき、体位変換も不要であり、造設するご本人にとって負担が少なく出来るというのは新たな発見でした。

経鼻内視鏡は進化しており、観察だけではなく、汎用性についても知識を得る事が出来ました。内視鏡を受ける方がより苦痛なく検査を受ける事が出来るように学びを深めたいと思います。

交流タイムは、活発なディスカッションが行われました。

「経鼻内視鏡に咽頭麻酔はどの程度必要なのか？」

「抗凝固剤を内服している患者さんの対応はどうしていますか？」

「鼻の手術をしている人の対応はどうしていますか？」

「スティック法では何を使っていますか？」

「使いたい物があるけどコストで悩んでいます…。」

等々、次々に質問・悩み・意見が出てきました。(そうそう、その事、聞いてみたかった!)
といった内容がたくさん上がり、あっという間に時間が過ぎていきました。



堀川由佳先生

大きな会場だとマイクの前に出なければならず、気が引けてなかなか聞けない事もありますが、当会は少人数ですので「こんな事聞いていいのかな…。」といった些細な事でも気をもまずに発言できるのがこの勉強会の強みです。事後アンケートでも、「他施設の前処置の現状や工夫を聞いたので大変参考になった。」「各施設いろいろ悩みながらより良いやり方をしていることが分かった。」といった感想をいただきました。

次年度の勉強会のテーマは、「内視鏡処置具」「洗浄・消毒」「内視鏡看護領域でのグループディスカッション」等を企画しております。これらは事後アンケートでリクエストの多いテーマとなっております。詳細が決まりましたら、東京消化器内視鏡技師会 HP に掲載いたします。

今年度ご協力頂きました講師の先生方、ご参加いただいたすべての皆様に心から感謝いたします。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

文責 白井直美